

7. 121系統から140系統

| 系統番号 | 起点 | 途中経由地 | 終点 | 担当営業所 | 共同運行 | 運行頻度 | 備考 |
|-------------|--|-------|----|-------|------|------|----|
| 121 | | | | | | | |
| 121系統 解説 | かつては新杉田駅から金沢工業団地に至る路線の一つがこの系統番号を名乗っていました。先の117系統同様、金沢シーサイドラインの開業の影響を受けてシーサイドライン開業の約1年後に廃止となりました。その後、新横浜駅から又口橋、八反橋、東泉寺前、川島住宅、上星川、和田町を経由して保土ヶ谷車庫に至る路線として復活しました。しかし、路線再編に伴い神奈中バスに移譲されました。現在は保土ヶ谷駅西口発着となっています。 | | | | | | |
| 122 | | | | | | | |
| 122系統 解説 | こちらもかつては新杉田駅から金沢工業団地に至る路線の一つでした。その後復活した122系統は東神奈川駅から新たに開発されているテクノウェイブ地区への路線でした。行って帰ってくるだけの循環路線でしたが路線再編に伴い全区間廃止されました。 | | | | | | |
| 123 | | | | | | | |
| 123系統 解説 | 長津田駅と若葉台中央を結ぶ路線でした。23系統の中山～長津田・奈良北団地系統と青葉台～若葉台中央系統をくっつけたような路線でしたが、十日市場駅を通らず十日市場の交差点で曲がっていました。新たに40系統が長津田駅と若葉台中央を結ぶようになってからは1時間に1本程度の運行となってしまいました。不遇な運命をたどった路線で、2006年3月18日に廃止となりました。 | | | | | | |

7. 121系統から140系統

| 系統番号 | 起点 | 途中経由地 | 終点 | 担当営業所 | 共同運行 | 運行頻度 | 備考 |
|---------|---|---|--------|-------|------|---------|--------------------------------|
| 124 | 笹山団地 | 上菅田町、鴨池大橋、ららぽーと横浜西、石橋、川和中学校前、大丸 | センター南駅 | 緑 | | RC → | 日中は運休 笹山団地発のみ運行 |
| | 笹山団地 | 上菅田町、鴨池大橋、ららぽーと横浜西、石橋、川和中学校前、大丸、都筑ふれあいの丘駅 | センター南駅 | 緑 | | DC → | 日中のみ運行 笹山団地発のみ運行 |
| | 笹山団地 | 上菅田町、地蔵前、鴨池大橋、ららぽーと横浜西 | 石橋 | 緑 | | MC → | 平日の朝方のみ運行 笹山団地発のみ運行 |
| | センター南駅 | 大丸、川和中学校前、石橋、ららぽーと横浜西、鴨池大橋、上菅田町、笹山団地 | 笹山団地中央 | 緑 | | RC → | 日中は運休(主に夕方以降運行) センター南駅発のみ運行 |
| | センター南駅 | 都筑ふれあいの丘駅、大丸、川和中学校前、石橋、ららぽーと横浜西、鴨池大橋、上菅田町 | 笹山団地中央 | 緑 | | DC → | 日中のみ運行 センター南駅発のみ運行 |
| | センター南駅 | 大丸、川和中学校前、石橋、ららぽーと横浜西、鴨池大橋、鴨居橋 | 緑車庫前 | 緑 | | RC | 日中は運休(主に夕方以降運行) |
| | センター南駅 | 都筑ふれあいの丘駅、大丸、川和中学校前、石橋、ららぽーと横浜西、鴨池大橋、鴨居橋 | 緑車庫前 | 緑 | | DC | 日中のみ運行 |
| | センター南駅 | 大丸、川和中学校前 | 石橋 | 緑 | | RC | 早朝、深夜のみ運行 |
| | 石橋 | ららぽーと横浜西、鴨池大橋、地蔵前、上菅田町、笹山団地 | 笹山団地中央 | 緑 | | RC → | 早朝、深夜のみ運行 |
| 124系統解説 | <p>2004年2月9日に運行を開始した路線です。運行開始当初は笹山団地から新設された鴨池大橋を渡り石橋まで走る路線でした。鴨居駅の駅前には行かず鴨居駅近くの鴨池大橋の上に「鴨池大橋(鴨居駅入口)」バス停を設けて鴨居駅への便を図っています。鴨居駅まで200mほど歩く必要がありますが、鴨居駅前周辺の渋滞を避け、バスの定時運行が行えるよう考えられた路線になっています。</p> <p>2007年3月15日のららぽーと横浜オープンに伴いららぽーと横浜に乗り入れるようになりました。また、日中は310系統を併合するような形でセンター南駅まで運転されるようになりました。その後市営地下鉄グリーンライン開業に伴い一部便が都筑ふれあいの丘駅を経由するようになり、更にその後元々の310系統であったセンター南駅～ららぽーと横浜、石橋間の区間便も124系統に統合されました。</p> <p>曜日、時間帯によって運行区間や途中経由地が異なり、子系統の多い路線でしたが2010年4月末にららぽーと横浜経由(及び発着)を中止し、ららぽーと横浜発着便は鴨池大橋を渡り緑車庫前発着に変更となりました。これにより多少運行パターンが減ったようです。</p> | | | | | | |
| 125 | | | | | | | |
| 125系統解説 | <p>8系統の一部をみなとみらい地区経由で運行するようにしたのが125系統でした。横浜駅を出て、高島町ガードの手前で左折し、みなとみらい地区に入ります。パシフィコ方面には行かず桜木町駅に直進します。桜木町駅から先は8系統と同一の経路で運行されていました。2004年2月1日のみなとみらい線開業時にみなとみらい線との並行区間が多い事から2004年1月31日の運行で廃止となりました。</p> | | | | | | |

7. 121系統から140系統

| 系統番号 | 起点 | 途中経由地 | 終点 | 担当営業所 | 共同運行 | 運行頻度 | 備考 |
|---------|---|--------------------------|---------------|-------|------|------|--------------------|
| 126 | | | | | | | |
| 126系統解説 | 現在の126系統は2代目です。初代は鶴見駅西口から一の瀬に行く系統につけられていました。13系統の補助的な系統でしたが、それ故にあまり人気がなかったのか次第に本数が削減され、ついに廃止となりました。その後本牧ふ頭地区の路線再編に際して54系統の外回り循環であった根岸駅から間門、本牧方面を先に通る、本牧ふ頭地区を循環する子系統が独立しこの番号が与えられました。原則として根岸駅からの循環線ですが、ダイヤによっては根岸駅発の本牧原止まり、本牧原発の根岸駅行きが運行されました。本牧原発は54系統の循環と同じ向きを走りました。2007年3月の改変で廃止となりました。 | | | | | | |
| 127 | | | | | | | |
| 127系統解説 | 2004年2月1日のみなとみらい線開業に伴い、本牧方面からみなとみらい線の駅へのルートとして105系統(間門経由)から分離独立した系統です。横浜駅から桜木町駅を経由し、桜木町駅から間門までは99系統と同じルートを走り(日本大通り駅県庁前、中華街入口、中区分庁舎前、元町、本牧経由)、間門で左折して本牧車庫に至る路線でした。麦田町、本郷町方面から元町・中華街駅や県庁、中区役所方面へ行くことの出来る路線でしたが105系統に比べると遠回りになることもあって乗客はあまり伸びず、2007年3月の改変で廃止となりました。廃止により105系統の間門経由が復活しました。 | | | | | | |
| 128 | 鶴見駅前 | 汐鶴橋、向井町2丁目、京三製作所前 | ヨコハマアイランドガーデン | 鶴見 | | B | 平日朝夕は頻度A |
| 128系統解説 | 元ワイルドブルーヨコハマ(屋内大規模プール)の跡地に建設された大規模マンションへの足として2004年4月に運行を開始した路線です。路線は15系統(向井町先回り)と同じルートを京三製作所前まで走り、ヨコハマアイランドガーデンの構内にあるバス停へ入ります。横浜アイランドガーデンの住民輸送という側面と横浜アイランドガーデン一つ手前のバス停になっている京三製作所への通勤輸送も兼ねた路線になっています。 | | | | | | |
| 129 | 新横浜駅前 | 八反橋、三枚町、旭硝子入口、西谷駅前 | 鶴ヶ峰駅 | 港北 | | C | 中型車運行多数 |
| | 新横浜駅前 | 八反橋、三枚町、羽沢団地、旭硝子入口 | 旭硝子前 | 港北 | | MC | 平日朝のみ運行 中型車運行多数 |
| 129系統解説 | 新横浜駅と鶴ヶ峰駅。遠いようで意外と近いのがこの2駅です。この2駅を結ぶのが129系統です。121系統同様、新横浜駅から又口橋、八反橋に行きます。八反橋からは121系統とは異なり天屋方面に行きます。三枚町で右折し、東泉寺前で左折します。三枚町から東泉寺前間は121系統と129系統の新横浜駅行きが通りの上り、下りをそれぞれ走ります。平日朝は旭硝子で折り返しますが、その時間帯以外はそのまま梅の木へ進み梅の木交差点で右折します。そして西谷駅を経て鶴ヶ峰駅に着きます。 | | | | | | |
| 130 | 上永谷駅前 | 丸山台、野庭団地センター前、野庭中央公園、清水橋 | 港南車庫前 | 港南 | | IC | |
| 130系統解説 | 2006年3月27日の野庭、港南地区の改変により登場した路線です。旧45系統の野庭車庫への出入線、野庭団地センター前経由を野庭中央公園より先港南車庫前まで延長した路線です。この出入線は野庭車庫時代野庭車庫発のみ丸山台経由がありましたが、130系統にも引き継がれ港南車庫発のみ丸山台経由が当初1~2本運行されました。基本的には港南営業所の45系統、112系統などへの出入路線ですが入出庫時のみだけでなく1時間に1本程度運行されています。2014年10月から全便丸山台経由となりました。 | | | | | | |

7. 121系統から140系統

| 系統番号 | 起点 | 途中経由地 | 終点 | 担当営業所 | 共同運行 | 運行頻度 | 備考 |
|----------------|--|-----------------------------|-------|-------|------|--------|--------------|
| 131 | | | | | | | |
| (旧)130,131系統解説 | 2002年4月11日まで、パシフィコ横浜から桜木町、県庁、中華街、元町、市庁前、伊勢佐木町、野毛といった観光地／官庁街を結ぶ都心循環バスが運転されていました。通称Yループバスといい、(旧)130系統が内回り、131系統が外回りで運行されていました。元々は横浜博覧会(平成元年)の開催にあわせて設定された路線でした。運行開始当初は桜木町駅から終点のないエンドレスな循環バスだった(また、経由地も多少違っていました)のですが、1994年にパシフィコ横浜を起終点とする循環バスとなりました。車両はカラフルな塗装(運行開始当初は横浜市電のかつてのカラーに合わせた色でした)の中型の専用車を使用していましたが、後年その車両が廃車になると一般車による運行となりました。 | | | | | | |
| 132 | | | | | | | |
| 132系統解説 | | | | | | | |
| 133 | 根岸駅前 | 市電保存館前、岡村町、笹堀 | 上大岡駅前 | 滝頭 | | C | 土曜、休日は日中のみ運行 |
| 133系統解説 | 根岸駅と上大岡駅を結ぶ路線です。運行開始当初は上大岡駅で折り返しが出来なかったこともあって上大岡駅の先、港南区総合庁舎まで行っていたのですが、上大岡駅までに短縮されました。根岸駅を出て、プールセンター前で右折し、下町、滝頭、市電保存館前、岡村町と行きます。笹堀で右折し、上大岡駅向かいます。全線のほぼ8割以上が狭い道路という路線です。 | | | | | | |
| 134 | | | | | | | |
| 134系統解説 | 都心循環バスがかつて走っていた柏葉地区の救済の意味がある路線です。本牧車庫を出ると8系統と同様のルートを通り、みなと赤十字病院まで行きます。みなと赤十字病院は2系統、58系統(子系統)の起終点バス停である病院の前のバス停に立ち寄ります。みなと赤十字病院でUターンして本来の道に戻り、見晴橋の所に出てきます。134系統はその交差点を左折し、見晴トンネルに入ります。トンネルを抜けて本牧通りの本郷町のバス停近くの交差点に出ます。交差点を右折し本牧通りに入り麦田町まで走り、交差点を左折し柏葉、山元町に向かいます。山元町からは石川町5丁目、伊勢佐木町、日ノ出町1丁目、野毛町を経て桜木町駅に入ります。 本牧地区と伊勢佐木町、野毛地区を結ぶ便利な路線なのですが、1時間に1本しかないこととダイヤが割に乱れやすいのが欠点となっていました。不採算路線のため民間への路線移譲が行われ、公募の結果フジエクスプレスがこの路線を引き継ぐことになりました。 | | | | | | |
| 135 | 根岸駅前 | 馬場町、脳卒中・神経脊髄センター、市電保存館前(循環) | 根岸駅前 | 滝頭 | | C → | 小型車(リフトバス)運行 |
| 135系統解説 | 1992年8月2日にオープンした脳血管医療センター(2015年1月から脳卒中・神経脊髄センターに変更)への足として同じ日から運行を開始した路線です。根岸駅からしばらくの間は78系統、133系統と同じルートを走りますが、坂下公園の先を直進し、根岸地区センター近くの馬場町を経由します。根岸橋を渡り、しばらく国道16号線をしばらく走った後で左折し、狭い道を脳卒中・神経脊髄センターへ行きます。 脳血管医療センターからは元来た道に戻るのではなく、周辺の住宅街を回り、帰りは市電保存館の方へ出てきます。滝頭から根岸駅へ戻りますが、このバスは再度馬場町方面に行ってから根岸駅に戻ります。 | | | | | | |

7. 121系統から140系統

| 系統番号 | 起点 | 途中経由地 | 終点 | 担当営業所 | 共同運行 | 運行頻度 | 備考 |
|---------|---|--------------|---------|-------|------|------|---|
| 136 | 中山駅前 | 中山町、境、上白根町入口 | よこはま動物園 | 緑 | 相鉄 | C | 主に日中のみの運行 相鉄はひかりが丘団地経由(共通定期券の取り扱いなし) |
| 136系統解説 | 1999年4月のよこはま動物園開園に伴って新設された路線です。今まで中山駅から上白根町方面は相鉄バスの鶴ヶ峰駅方面のみのバスのみだったのですが、今回相鉄バスのエリアに市営バスが参入しました。中山駅の南口から西村橋方向に行くのですが、運用の関係上緑営業所ではなく若葉台営業所が路線を担当していましたが、2008年2月の5系統他の路線移譲に伴い、緑営業所の担当となりました。ゴールデンウィークや長期休暇時などは臨時便が運行され運行本数が増えるようですが、それ以外は1時間に1、2本程度の運行です。 | | | | | | |
| 137 | | | | | | | |
| 137系統解説 | | | | | | | |
| 138 | | | | | | | |
| 138系統解説 | この系統と後述の139系統はもともと神奈中バスが運行していた路線に後から市営バスが乗り入ってきた路線でした。従って、系統番号は当時の神奈中バス(港38系統、上39系統)にあわせて138、139系統となりました(通常は神奈中バスが市営バスの番号にあわせませす。他の民営もほぼ同様)。開設当時は小山台地区の循環線でしたが、平成10年1月より本郷台駅まで延長となりました。延長と同時に、神奈中バスの系統番号が市営バスと同一のものになりました。その後神奈中バスへの移譲対象路線となり、2006年3月26日をもって市営バスの運行は終了しました。これにより、本郷台駅へ市営バスが乗り入れることがなくなりました。 | | | | | | |
| 139 | | | | | | | |
| 139系統解説 | こちらは上大岡駅から本郷台駅に行く路線でした。港南車庫入口の一つ先の原までは鎌倉街道を走り、そこから先は新しくできた道路を走り、本郷台駅に行く路線でした。本郷台駅は138、139系統が乗り入れる前までは1日に数回、(旧)40系統が乗り入れていましたが138、139系統の路線延長にあわせて廃止となりました。その後神奈中バスへの移譲対象路線となり、138系統同様2006年3月26日をもって市営バスの運行は終了しました。これにより、本郷台駅へ市営バスが乗り入れることがなくなりました。 | | | | | | |
| 140 | | | | | | | |
| 140系統解説 | 横浜博覧会が終了した後で出来ました。開業当時は桜木町駅から横浜館・臨港パーク行きとして、1台のバスが30分おきに桜木町駅と横浜館・臨港パーク(現在の路線とは経路がだいぶ異なり、高島町付近まで行って曲がっていました)を行ったりきたりしていました。その後、みなとみらい21地区の発展に伴い、何度かの路線の変更が行われて最終的には山下ふ頭～パシフィコ横浜という路線となっていました。1999年9月10日に「ワールドポーターズ」、「赤レンガパーク」への路線整備が行われ、その際140系統は89系統・141系統に統合される形で廃止となりました。 | | | | | | |